



MAXI(写真上) 提供: JAXAと  
星出飛行士へのメッセージ(写真下)

## 「きぼう」に観測装置搭載予定！ 明星電気のメッセージが宇宙に飛びます

宇宙空間で観測や実験・研究を行うために地上約400km上空に建設が進められている、国際宇宙ステーション(ISS)計画。日本初の有人実験施設となる「きぼう」日本実験棟の実験スペースの1つ「船外実験プラットフォーム」には、明星電気が担当した観測装置、MAXI(全天X線監視装置)、SEDA(宇宙環境計測ミッション装置)も搭載される予定です。

また、「きぼう」日本実験棟の打上げ第2便にあたる1Jミッション(STS-124ミッション)では、「きぼう」の船内実験室とロボットアームがスペースシャトルによりISSに打ち上げられます。

このミッションには、星出彰彦宇宙飛行士が搭乗し、米国東部夏時間5月31日午後5時01分頃(日本時間6月1日午前6時01分頃)に打ち上げ予定です。

明星電気は、星出宇宙飛行士に全社一丸の応援メッセージを送りました。

星出宇宙飛行士は、これらの寄せ書を電子データでスペースシャトルへ持ち込み、国際宇宙ステーションにおいて、このメッセージを読まれるそうです。

明星電気は国際宇宙ステーションの開発に参加し、世界の宇宙開発に貢献しています。



WRUインタフェース表示器画面

## 納入製品のご紹介 ~ 空の安全を守るWRU ~

明星電気は、航空局様にWRU (Weather Information Receiving Unit) を納入しています。

WRUと呼ばれる気象情報受信装置は、空港における、風向風速、視程の観測データおよび気象報を気象庁から受信して表示する装置です。

この表示した情報を管制官、管通官がパイロットに知らせ、航空機の安全な運行に役立てています。明星電気は約15年前から製作しており、羽田や成田空港を含む全国約70空港に設置されています。

空港の規模により、異なるタイプの装置を開発。2007年度は、仙台、新潟空港を始めとする15空港に3タイプの装置を新規または更新のため納入しました。

明星電気は、これからもみなさまの空の旅の安全を守ります。



2月21日に開催し、昨年度の締めくくりとなった札幌市でのセミナー

## BCPと緊急地震速報活用セミナー ~ 昨年度全国主要都市7カ所で開催 ~

明星電気では、昨年4月から全国主要都市で地震災害時の事業継続と緊急地震速報活用についてのセミナーを開催し、民間企業での緊急地震速報活用のご提案を積極的に推進しています。

札幌・仙台・群馬(伊勢崎市)・東京・名古屋・大阪・福岡の各都市で開催した同セミナーには、約600社近い企業や団体から、750名を超える参加者がありました。

セミナー受講後の参加者へのアンケート調査の結果、ほとんどの方が、緊急地震速報の有効性を理解され、弊社のQCAST@シリーズ製品の導入を前向きに検討したいという回答を頂きました。同時にすでに「緊急地震速報活用を検討中」と回答された企業向けへのシステム提案を行いました。その結果、3月号で導入事例をご紹介した大同特殊鋼株式会社を始め、昨年度のセミナーにご参加頂いた複数の企業などからQCAST@シリーズ製品や計測震度計といった地震防災関連製品をご採用いただきました。

今後も、セミナーや展示会など、お一人でも多くのお客様から製品やシステムへのご意見などを頂いて、さらに高度な地震防災システムをご提供してまいります。

## FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、~水中から宇宙まで~をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。